

令和4年度 第5回中央市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時：令和5年2月3日(金)午後1時30分～

場 所：中央市役所 2階 防災対策室

出席者：12名（欠席者：6名）

篠原委員 菊島委員代理（小林氏） 本住委員 田島委員

秋山委員 金子委員代理（山本氏） 志村副会長 中楯委員

坂本委員 加藤委員代理（清水氏） 浦田委員 佐々木委員

事務局：山本課長・青木副主幹・渡辺主査 請負業者：㈱KCS 城平氏、五十嵐氏

会議概要

1 開 会

第4回協議会書面開催及び書面表決のお礼及び、事業評価の提出報告

2 議 題

（1）中央市地域公共交通計画について

①「各種調査結果の報告」について、【資料1、2】

②「調査結果の分析、問題・課題の整理」について【資料3】

㈱ケー・シー・エスから各資料に基づき説明（結果概要及びポイント）。

※とまチュウバスの利用者アンケートは追加調査を実施予定。

○質 疑

委員A

問：【資料1】市民アンケート調査について、配布枚数1500票の地域内訳は。

答：地域人口で按分し、田富地域700票、玉穂地域500票、豊富地域300票とした。

また、世代は各地域の年齢構成に応じ抽出。

問：豊富地域の回答率が高い認識でよいか。

答：お見込みのとおり。

なお、年代別の回収率については【資料1】5ページに表記しており、年代が上
がるとともに回収率が高くなっている。

年代別回収率から50代以上の関心が高いことが見て取れる。

委員B

問：とまチュウバス（コミュニティバス）の利活用について、豊富地域から玉穂中学校へ通学する生徒向けにスクールバスとしての機能を検討してはどうか。

玉穂中学校へ通学している豊富地域の子供たちの意向希望を調査してはどうか。

答：笛南中学校から玉穂中学校に編入される際に教育委員会でスクールバス導入を検討したが、保護者等の意見を踏まえ自転車通学に至った経過がある。

今後、通学手段としての利用意向を踏まえ、再編を検討していく。

③事前仮説の検証及び最終仮説の検討について

(株)ケー・シー・エスから【資料4】に基づき説明、最終仮説の提案。

○質 疑

委員C

問：新たなモビリティに「ボランティア輸送」とあるが、具体的にどのようなイメージか。自家用の無償輸送と考えてよろしいか。

答：基本的には無償輸送とし、燃料費のみを利用者に負担してもらう想定でいる。

新たなモビリティを検討する中で、デマンドや自家用有償旅客サービスを導入するほどのニーズがない地域に対応する手段の一つとして考えている。

委員D

問：【資料4】1ページ「路線バスの利用実績は5年前と比較すると50%程度の減少となっている系統もある」と記載されているが、原因を把握しているか。

外出流動の減少、移動手段の変更、人口減少等の原因を把握することで、今後の方針（目標、手段・手法）が検討しやすいと考える。

答：複数原因により利用実績は減少しているため、掘り下げて調査、分析していく。

問：交通弱者の救済について、福祉施策等との関係はどのように考えているか。

交通施策単独か関係部門と連携した計画を検討するのか。

答：交通弱者は、免許がない方、高齢者、身体の不自由な方等、様々であり、公共交通として求められるニーズ、対応可能な範囲の設定は大事なポイントとなることから、関係部門と連携しながら福祉サービスや、その他のサービスとの区分を明確にし、公共交通の在り方を検討していく。

意：4つの指針に基づき今後具体的な内容を検討する上で、サービスレベルの設定は重要となるため、今後も持続可能な手段等の提案を求める。

委員E

問：社会福祉協議会で外出支援事業をされているが、内容を確認したい。

委員F

答：社会福祉協議会では「お出かけサービス」を実施している。

ボランティアドライバーが一人暮らしの高齢者などを、市内の病院やスーパーマーケットへの送迎をしており、燃料費程度を負担してもらっている。

委員A

問：【資料3】9ページ課題3公共交通サービスにおける持続可能性の確保について、とまチュウバスの利用者が増えても、負担額が減らない結果もでていて、様々な要因があると推測されるが、持続可能な目線として、要因や数値的な分析をしてはどうか。

答：内容を確認し分析する。

委員G

問：「ボランティア輸送」については、くれぐれも法令を遵守する形でお願いします。

また、誤解を招くため表現であるため、可能であれば変更してほしい。

答：法令遵守を大前提とし、注意していく。

社会福祉協議会で実施している「お出かけサービス」事業も取り組み方の一つとして考えており、支援策を含めて「ボランティア輸送」としている。

誤解のない表記に改める。

基本的な考え方について委員より異議なし。（承認）

（2）補正予算（案）について

令和4年度中央市地域公共交通活性化協議会補正予算（案） 事務局説明

委員より異議なし。（承認）

議事終了

3 その他

委員C

- ・地域交通優良団体の表彰について

群馬県前橋市、山梨県北杜市協議会の2団体が選ばれた。

北杜市の事例を紹介。

事務局

- ・とまチュウバス故障に伴う代替車両での運行について

現行車両が令和4年11月に故障し、年式が古く修理ができず再起不能となった。

現在は山梨交通所有の予備車両にて通常運行中であり、来年度以降車両更新を要する。

- ・リニア中央新幹線工事に伴う、とまチュウバス運行経路の変更について

小井川駅周辺工事に伴うルート変更（迂回）は不要となった。

4 閉 会